

抗体創薬を加速する、 抗体設計から発現評価までの オートメーション事例 ～ リード抗体最適化フェーズの再設計 ～

日時 2026年 8月 25日 [火] 13:30～14:00

演者 大滝 真作

ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス マーケティング本部

AIを活用した抗体設計は急速に進展しており、AI抗体創薬市場は年率22%以上の成長が見込まれています。
一方で、DNA合成から発現・評価に至る工程は依然として数週間から数か月を要し、**リード抗体最適化フェーズのボトルネック**となっています。

本発表では、

- Gibson SOLAによるインハウス高速DNA合成
- EchoによるDNAアセンブリの微量化
- Visual ALPを用いたコロニーピッキング自動化
- DoEによるトランスフェクション条件の最適化
- ADCおよび二重特異性抗体のスクリーニングと精製条件検討

まで、**リード抗体最適化フェーズを再設計**する**自動化ソリューション**を紹介します。

視聴登録はこちら

<https://becls.co/4pj8t1E>



Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。